

各務小だより

各務小学校
校 報 12月号
令和4年12月1日



「人権」について考える

校 長 松原 里佳

朝夕の冷え込みに、冬の到来を感じる頃となりました。12月には、世界で統一して、「人権週間 12/4～12/10」があり、最終日を「世界人権デー」と定めています。世界中の人々が人権について考える機会としてあります。小学生向きの国語辞典には、「人権とは、人間が生まれた時からもっている自由・平等・生存などの人間としての権利」と書かれています。「人が幸せに生きる権利のこと」です。この権利は、人が人らしく生きるために必要なものであって、守られるべきものです。

各務小学校では、「人権」に関わって、児童会が中心となり、「秋の良さ見つけキャンペーン (11/14～12/7) ～進んであいさつしよう、「ふわふわ言葉」を大切にしよう、仲間を大切にする行動をしよう～」を、様々な立場の人が一緒に気持ちよく生活できるように考える「ひびきあい週間 (11/29～12/9)」を、「人権」について各学級で取り組んだり考えたりしたことを発表する「ひびきあい集会 (12/9)」を、位置付けています。全校で「人権」について知り、自分にできることを考え実行する機会と捉えています。

「秋の良さ見つけキャンペーン」では、見つけた仲間の良さを、秋の味覚のカードに書き、それを廊下に掲示しています。少し紹介したいと思います。12月の参観日に是非ご覧ください。

- ・大きな声で「おはようございます」と、気持ちの良いあいさつをしてくれて、うれしい気持ちになりました。僕も、大きな声であいさつしたいです。
- ・名前を呼んであいさつしてくれるから、仲間と思ってきているのだなと、嬉しくなりました。
- ・下校の時「前に行こうね」と、優しく声をかけてくれて、嬉しかったです。
- ・手伝ったら「ありがとう」と言ってくれたので、嬉しかったです。
- ・話をしている人の方を見て、うなずきながら聞いているので、すごいなと思いました。
- ・手が届かない窓を開けるのを手伝ってくれて、助かりました。
- ・縄跳びで100回跳べたときに、ほめてくれました。

この期間、「人権」について、次の3点について、ご家庭でも心がけてみてください。

○人に親切にする喜びを教える

相手のことを思い、行動したときに、お礼を言われると「うれしい」と感じ、人に親切にすることが喜びに変わります。どんな些細なことにも「ありがとう」を伝えることで、自己有用感につながります。

○自分との違いで差別しないことを教える

何らかのハンディキャップをもつ人、外見が異なる人、異なる考え方や感じ方をする人…。社会には、自分とは異なる特質をもつ人がたくさんいます。その違いで他者を差別したり偏見をもったりするようなことは許さないといった態度を示すことで、他者を大切にする気持ちにつながります。

○家庭でもいじめについて話し合う

いじめは、人の命を奪ってしまう可能性のある卑劣な行為です。「いじめは絶対にしてはいけません。いじめをはやし立てることや、見て見ぬふりをすることも、同じくらい悪いことである。」と話し合うことで、「いじめを許さない」という気持ちを育てます。

私たち大人は、子どもたちの手本でありたいものです。保護者の皆様と学校とが一緒になって、他人の人権を尊重し、思いやりのある子どもたちを育てていきたいと考えています。

